

平成23年度
一般会計予算
に対する

各会派の総括意見

平成23年度一般会計予算に対する各会派の意見表明が、3月28日の本会議において行われましたので、その意見の内容(要旨)を紹介します。下表は予算案に対する各会派の態度表明です。

○…賛成、×…反対

会派名	原案
民主市民ネットワーク	○
自民クラブ	○
公明党	○
日本共産党	×
無会派	○

民主市民
ネットワーク
賛成

次世代に負担を残さない財政運営を意識した予算組みを評価

平成23年度日野市一般会計予算に対し、原案に賛成する立場から意見を申し上げます。本予算は、厳しい状況下においても、次世代に負担を残さない財政運営を意識した予算組みが示されています。経費削減を図りながら、子育て支援の充実、学びの環境整備、健康福祉施策の課題への取り組み、市立病院改革プランの推進、安全安心なまちづくりなど、市民の命や生活にしっかりと向き合った施策の予算が計上されています。

今まさに困っている人が大勢いる現状での事業展開は、高齢者の生活に寄り添ったモデル事業になると思います。

歳入において、ホームページ広告料は、平成22年度決算見込みで予算額を超えた収入となることから、今後とも、更なる収入増を期待します。

歳出において、総務費、男女平等基本条例推進経費のうち、DV対策は啓蒙が必要であり、全公施設の子トイレにDVカードを設置することを要望します。

次に、民生費、自殺対策推進事業経費については、年間3万人を超える自殺者対策のために条例化を進め、新年度に650万円の予算を組みました。

次に、土木費において、引き続き需要に応じた自転車駐輪場整備と放置自転車対策の強化を要望します。

最後に、国民健康保険税の値上げについて申し上げます。今回の国保税値上げに関しては、市民の税負担の公平の原則の下、国民健康保険運営協議会において慎重に検討された結果、自己負担について配慮された内容であり、容認されるべきものであると考えます。

公明党
賛成

職員の英知を結集し、安心して災害に強いまちづくりを

平成23年度日野市一般会計予算の認定について、原案に賛成する立場から意見を申し上げます。

平成23年度一般会計予算は、総額53億8千万円で、前年度比7%増となりました。ただし、国政の予算割において、東日本の災害復興財源の確保のために、不要不急のものを削り震災の復旧復興に充てるなど、地方財政にも影響が出ることが想定されます。

望を申し上げます。

まず、安全・安心なまちづくりの推進については、将来を見据えた基盤整備を更に進めていただきたいと思います。また、公共の交通網不便地域に対し、バス路線の運行条件の緩和、ワゴンタクシーの拡大運用等の検討を要望します。

それから、民間業者における小規模多機能型居宅介護事業及び精神障害者支援事業の複合的な施設整備などの積極的な政策を高く評価します。

また、パートで働く保護者の児童を受け入れる定期利用保護事業など新たな保育の仕

金は18・2%の増です。

一方、市債は対前年度比6億5千800万円、38・9%の増となっています。これは、まだまだ保育園舎建設工事、たかは台保育園大規模改修工事や都市計画道路、幹線市道、住宅市街地整備事業、豊田駅バリアフリー化整備などの安全・安心のまちづくりに大きく寄与しているといえます。今後は、中長期的視野に立ち、プライマリーバランスを死守していただくことを要望します。

次に、個別事業及びその他の事項について、意見及び要

望を申し上げます。

平成23年度は、安全・安心で災害に強いまちづくり元年と位置付け、一層の職員の英知を結集し、市民の期待と負託に応えられるよう全力を尽くしていただくことを要望し、平成23年度一般会計予算に対する賛成の意見と致します。

自民
クラブ
賛成

大震災が与える甚大な影響を想定した行財政運営に期待

平成23年度日野市一般会計予算案に賛成の立場から、各項目について取り上げます。

歳入においては、繰入金が増え、対前年度比23・9%減であったことと、地方債が対前年度比24億円減となったことを評価します。

歳出において総務費では、2億2千421万円の国体準備経費が計上されました。平成25年の市制50周年、多摩国体に向けて、全庁をあげて日野らしさを追求したまちづくりの推進を期待します。

の今までの尽力に対し敬意を払いたいと思います。

次に教育費では、小・中学校のクーラーの設置を契機に、夏季臨時授業の実施の検討をお願いいたします。

最後に、この度の震災に関連したことについて述べます。東日本大震災は、市の平成23年度予算にも大きな影響を与えていることが予想されています。大災害を想定して、財政調整基金の積み増しの検討をお願いします。

となりました。これは、一般会計予算の約半分を占めています。その中で、生活保護費は30億円に上り、対前年度比7・1%増となつて財政を圧迫しています。今後、セーフティネットコールセンターとも連携した、新たな生活保護世帯を生まない制度設計を期待しています。また、待機児童解消に向けて、新年度、新たに2カ所の民間保育施設が開設されることを評価します。

次に土木費では、自民クラブがJRに働きかけていた豊田駅のバリアフリー化事業466万円が計上されました。職員

た対応をお願いします。また、市民に対する説明も必要であると思います。なお、子ども手当については、東日本大震災への緊急対応費として充てられることが予測されます。市民に混乱が生じないよう事前に準備を進めていただきたいと思います。更に今後、防災計画を見直す中で被災者や救済物資の受け入れ、災害時における市民への周知方法の改善等について検討していただきたいと思ひます。また、大災害を想定して、財政調整基金の積み増しの検討をお願いします。

以上、提案も含め、平成23年度一般会計予算への賛成意見と致します。

日本
共産党
反対

苦難に直面する市民の暮らしを支えることに最大限の努力を

2011年度一般会計予算案に反対する立場で意見を申し上げます。

最初に、一般会計に反対する主な理由を申し上げます。

まず、今回の国民健康保険税の値上げは、4年間の医療給付の伸びを見込んで、一気に18%引き上げられました。これに対し、直ちに国保税の大幅値上げを中止し、改めて市民参加により検討し直すことを要求します。

幾つもあるわけですから、無駄な事業に職員と税金を投入することを中止するよう要求します。

今、市がなすべきことは、地方自治法が定める地方自治体の目的、すなわち住民の福祉の増進に最大限の力を発揮することです。それは、幾重もの苦難に直面する市民の暮らしを支えることに、全力を尽くすことだと考えます。

最後に、予算委員会において議論になった幾つかの問題点について意見を述べます。まず、今回大震災に遭遇された中で、市の地域防災計画

は目先の経費削減に走り、医療や介護費用の支出を減らす道を閉ざすものであるといえます。

学校給食費の値上げの問題も重大です。現在、給食を無料化して、食料費などに助成を行う自治体が増えていきます。この立場から、学校給食費の値上げを中止して、給食食料費の助成を行うことを要求します。

更には、陸上競技場フィールド改修工事に2億2千万円を計上していることです。ホッケーの公式競技場は都内に

を見直し、特に建物の耐震補強や危険ながけ、擁壁、消防水利の実態等の情報公開について、計画的な対策を立てることを求めます。

次に、通級学級などに通う発達障害児の学童クラブへの受け入れ問題です。今回、精神障害者保健福祉手帳の保持を理由として、入所申し込みを拒否する問題が起きました。このことに対し、直ちに是正措置をとるよう要求します。

また、市長の政治姿勢である自己責任を合言葉にして進められてきた反民主的な構造改革路線に反対します。

これらのことを申し添え、2011年度一般会計予算案に対する反対の立場からの意見とさせていただきます。